第9回地域資源戦略会議（ものづくり分野）

資料１－２

next X
10年ロードマップ協創プロジェクト［ネクストテン］

常陽銀行のものづくり企業支援の取り組み

Ⅰ．ものづくり企業支援の背景
Ⅱ．当行のものづくり企業支援の取り組み
Ⅲ．産学官金連携の促進に向けて
Ⅳ．まとめ

2015/2/19

㈱常陽銀行　地域協創部
藤　沼　良　夫

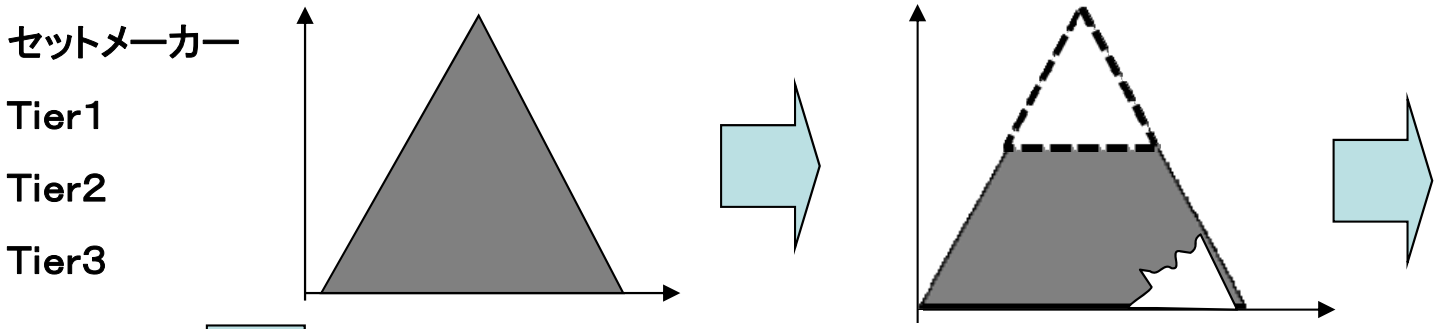
Ⅰ．ものづくり企業支援の背景

（1）地域課題と対応方向

●地方は衰退スパイラルに入りつつある。

・少子高齢化、事業所減　→消費減　→シャッター通り　→税収減　→インフラ維持不可　→若者減

●大手セットメーカーの海外進出で地域産業は縮小方向にある。



銀行も元気がなくなる

●ものづくり企業は、経営の基本を実行し、特徴ある技術／製品／サービス、科学に裏付けられた技術、加工上流の素材や下流の表面処理・機能性などの知識がないと付加価値は少なく、生き残りは難しいこと

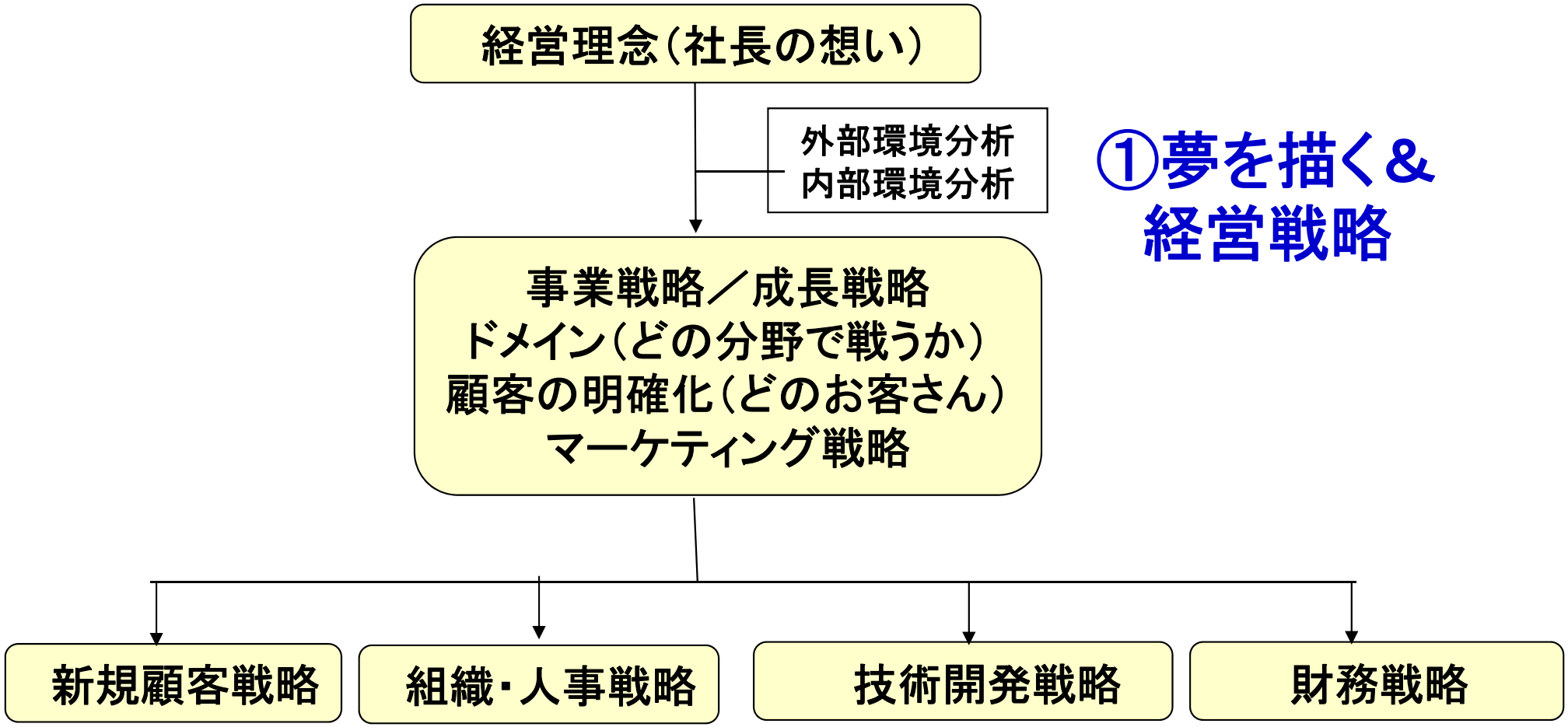
●地域の元気の源は“生産活動／ものを動かしお金を回す”こと

・それには既存産業・企業を復活・リニューアルし雇用を維持し、新しい産業・企業を生み出すこと。

●地方銀行と地方大学の本格的な出番となった。しかし、課題も多い。

(2)経営者が最低やるべきこと　5項目

⇒　5項目で整理すると、経営課題と対応策が見えてくる。



①夢を描く＆
経営戦略

⑤御用聞き　④人づくり　③現場のスリム化　②資金手当

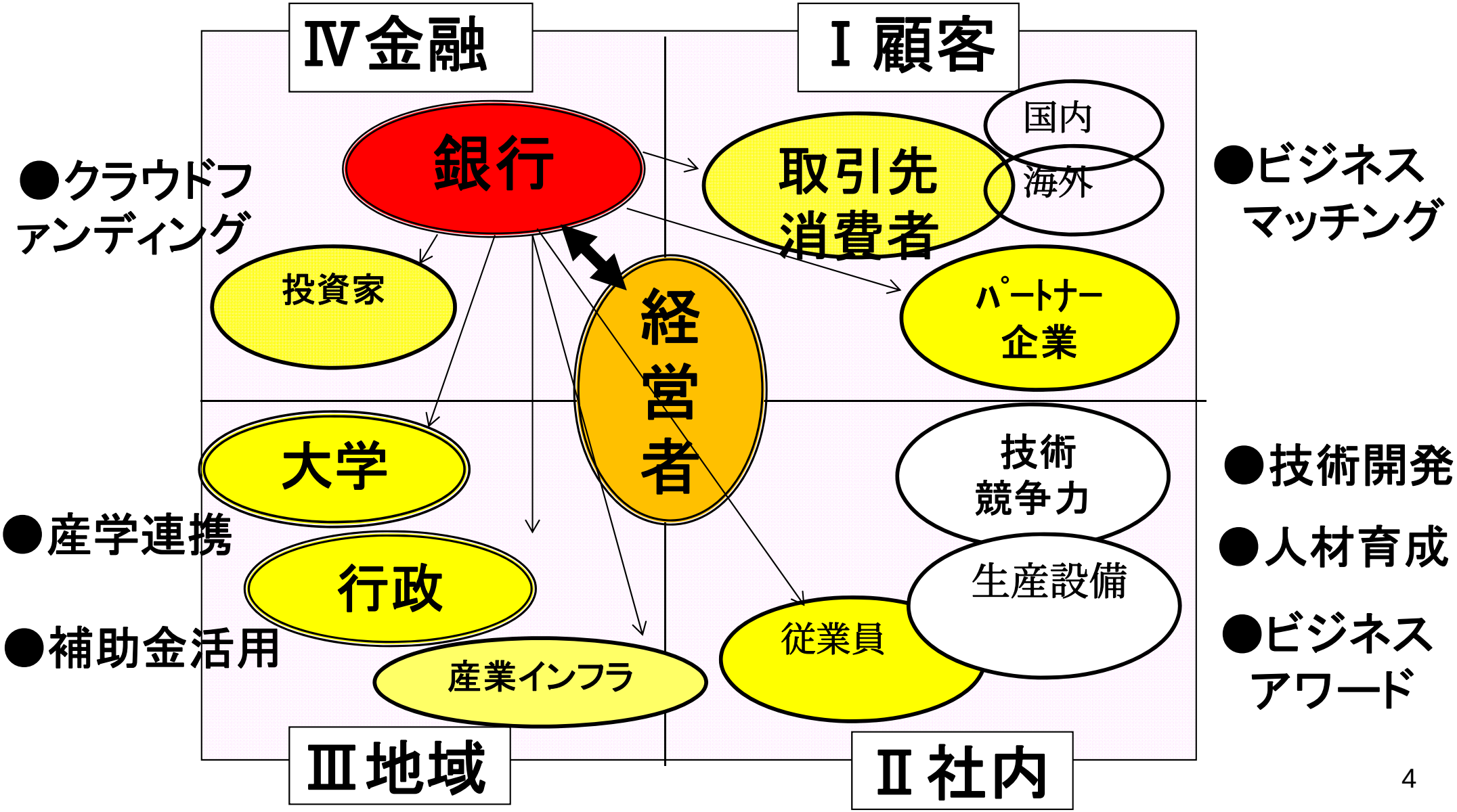
※　5項目の内容と対応策

項目	課題・内容	対応策
①夢を描く＆ 経営戦略	・経営者は孤独。相談相手がおらず、情報量が少ない	・親身の相談相手（プロマネ的人材） ・外へ出かけネットワークづくり
②資金手当	・まずキャッシュの確保	・メイン銀行との情報交換 ・リレーショナルバンキング
③現場のスリム化	・固定費を下げる。その上での技術開発	・まず原価計算 ・技術開発では公設試・大学との連携、補助金の活用
④人づくり	・経験則／ノウハウ依存 ・設計／開発の人材不足	・人材確保：地元大学との連携 ・人材育成：公設試・大学との連携
⑤御用聞き	・経営者の最大の関心事は売り上げアップ	・営業活動、ビジネスマッチングから課題をいただき提案

⇒　経営／技術／顧客開拓の一気通貫の支援が求められる。
⇒　地方銀行／地方大学への期待が大きい。

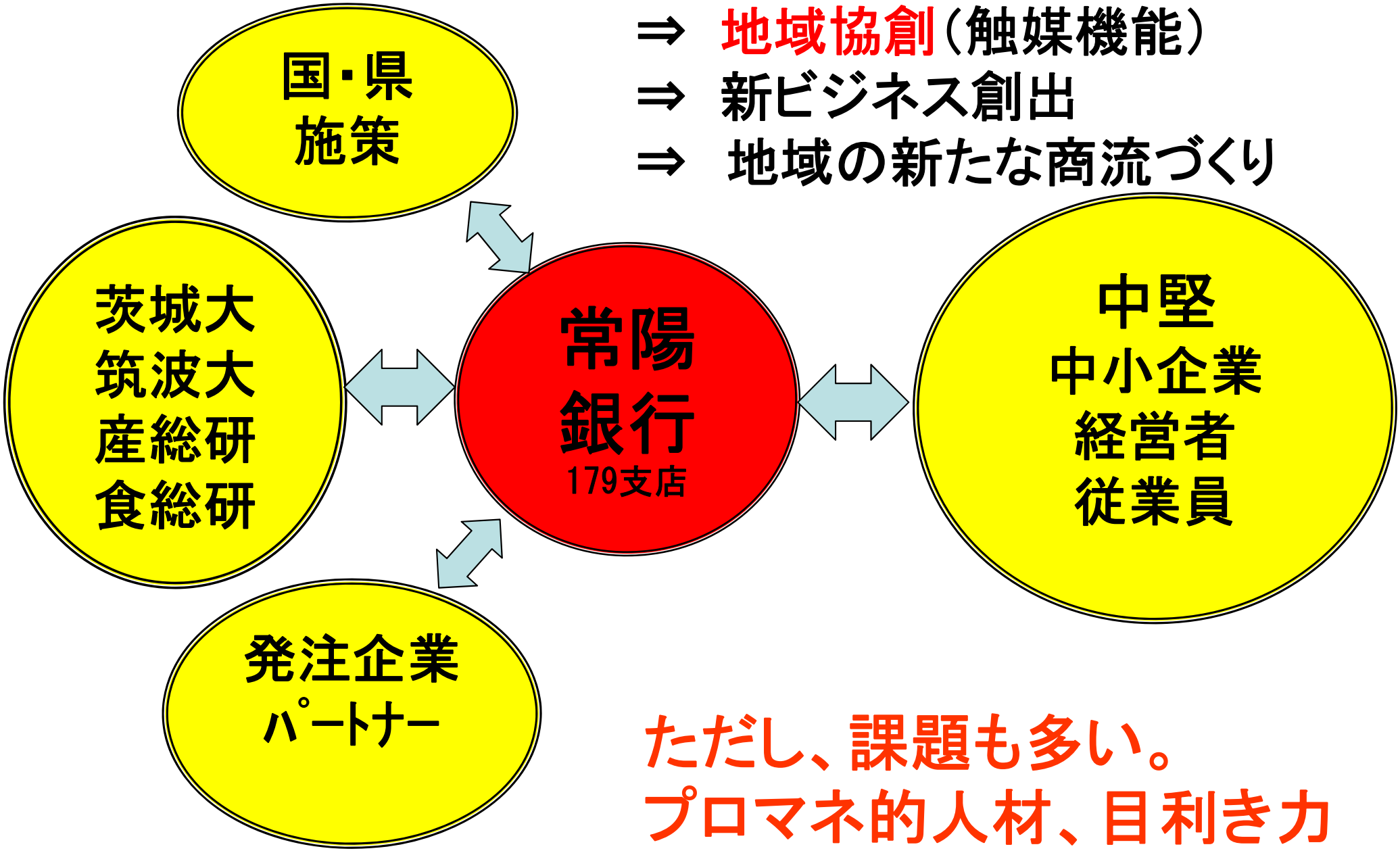
（3）経営者を取り巻く環境を4象限で整理

→　銀行の持つ広いネットワークが活きる



※　銀行の仲介力で地域の人と情報が繋がる

⇒　地域協創（触媒機能）
⇒　新ビジネス創出
⇒　地域の新たな商流づくり



ただし、課題も多い。
プロマネ的人材、目利き力

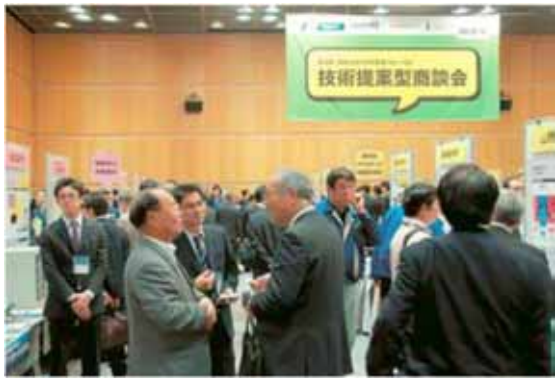
Ⅱ．当行のものづくり企業支援の取り組み

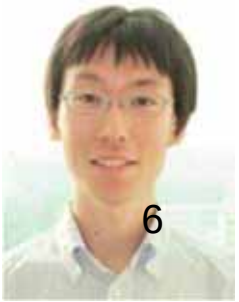
（1）常陽銀行の経営理念「健全、協創、地域と共に」

社会的使命を果たすための3つの重点項目（H18～）

- ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化
- **持続可能な地域経済への貢献**
- 中小企業に適した資金供給手法の徹底

1. ビジネスマッチング
2. 産学官金連携
3. 技術開発・創業支援
4. 人材育成支援





（1）ビジネスマッチング

開催回	参加企業	商談件数	その他
第1回（H20.12）	169社	45件	
第2回（H22.3）	162社	98件	プレゼン25件
第3回（H22.12）	150社	91件	プレゼン27件 パネル展示36件
東日本震災復興支援（H23.5） 於：日産厚木テクニカルセンター	45社	1500名	パネル展示45件
第4回（H23.12）	210社	222件	技術提案書102件 プレゼン27件 パネル展示58件
第5（H24.11.21）	300社	768件 700名	技術提案書165件 パネル展示160件
第6（H25.12.10）	400社	1271件 1050名	技術提案書183件 パネル展示183件
第7（H26.12.10）	750社	1550件 1600名	技術提案書193件 パネル展示205件

●特徴／問題意識

①主体的参加

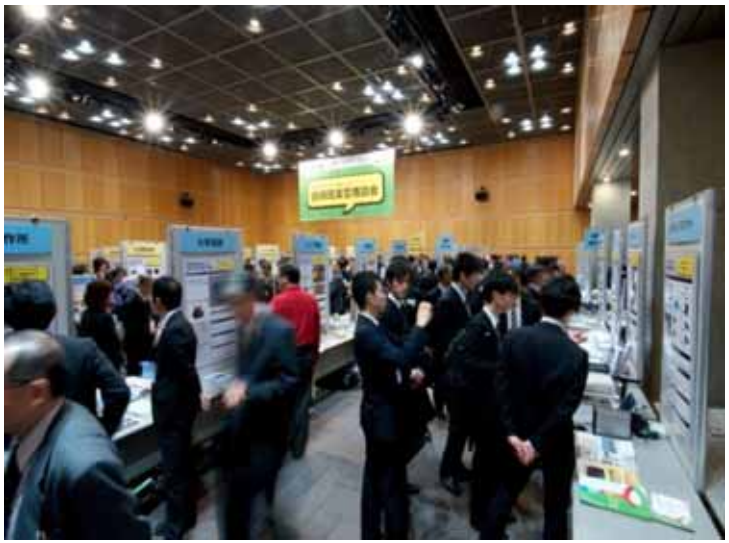
・地元企業側：技術提案書作成

②商談成約アップ

・発注側企業との事前マッチング

・商談後のフォローアップ

③パートナー企業探しのお手伝い



（2）目先のビジネスから少し未来課題への挑戦

アクションD：参加者157社、提案書65社 → アクションJATを展開中（J：常陽銀行、T：東邦銀行、A：産総研福島再生可能エネルギー研究所）

求ム！ 事業パートナー殿。

大和ハウス工業株式会社は、「アスフカケツノ」をキーワードに、これからの未来社会で重要性を増していく複数の伸長分野において意欲的な事業展開を進め、注目を集めている企業です。

ア＝安全・安心
ス＝スピード・ストック
フ＝福祉
カ＝環境
ケ＝健康
ツ＝通信
ノ＝農業

アスフカケツノ 検索

その成長を可能にしているのが、一見無関係に思える「異分野」の技術を「柔軟に」組み合わせ、「まとめあげる」力です。

今回実現することになった大和ハウス工業との事業協創プロジェクト「アクションD」。ここで、「ニーズ」として強く求められていることは、確立された既存商品やコストダウン技術だけではなく、組み合わせによっておもしろい展開を見せる可能性を秘めた「技術」や「アイデア」の種、そして、何より、新たな事業を創りあげる情熱と気概を持った「事業パートナー」です。

新分野への進出や自社技術の新たな使い道を検討されている企業の皆さま、ぜひこの「アクションD」に積極的にご参加ください。

今回実施する事業協創プロジェクト「アクションD」は、常陽銀行といばらき成長産業振興協議会、茨城県、茨城県中小企業振興公社、日立地区産業支援センター、ひたちなかテクノセンター、つくば研究支援センターが、大和ハウス工業株式会社の協力のもと、共同で企画・開催するものです。皆さまの経営力・競争力強化に向けた伸長市場への参入を、常陽銀行と茨城県内すべての産業支援機関が連携して全力で支援してまいります。 ＊すべての工程への参加は無料です。

今回は、とくに、「環境・新エネルギー」、「健康・医療機器」、「次世代農業化（六次産業・農商工連携等）」、「各種ロボット機器・装置」の４分野に活かせる可能性のあるすべての技術やアイデアを募りますが、上にある通り、求められるのは、意外な組み合わせや可能性です。まずは、貴社の優れた技術をもって、このプロジェクトに参加エントリーし、ぜひ2013年7月10日開催「大和ハウス工業からの『オリエンテーション』」にご参加ください。

(3)産学官金連携 「ひざづめミーティング」

特徴／問題意識

- シーズ押しつけ方式からの転換、双方向の情報交換の場提供
- 地域貢献マインドのある先生のスクリーニング
- 企業側は必ず問題意識や課題を技術相談シートに記入し提出
- 共同研究中心から多様な展開へ

●ひざづめミーティング　inつくば （24.7.19）

・4u（埼玉大学、茨城大学、群馬大学、宇都宮大学）と連携
・大学の先生8名、ものづくり企業42社

●ひざづめミーティング　inいわき （24.10.16）

・茨城大学、福島大学、いわき明星大学、福島高専、茨城高専と連携
・大学等の先生8名、ものづくり企業30社

●ひざづめミーティング　in NIMS （25.3.19）

・NIMSから15名の研究者、同機構コーディネーターが参加
・ものづくり企業32社

●ひざづめミーティング　for アグリ（25.12.6）

・茨城大学農学部からから10名の教員
・食品系企業18社

●ひざづめミーティング　in 食総研 （26.12.2）

・食総研からから5名の研究者
・食品系企業28社

（4）技術開発・新ビジネス支援：ビジネスアワード

特徴／問題意識

- 新事業創出、地域経済の成長と活性化に貢献
- 銀行との経営課題の共有
- 課題解決、競争力強化への支援
- 融資機会の創出

●第1回　常陽ビジネスアワード2012

○応募総数261 件 ：ものづくり関連（54 件）、アグリ・6 次産業化関連（39 件）、環境・エネルギー関連（45 件）、医療・介護関連（25 件）、先端技術関連（13 件）、海外進出関連（9 件）、その他（76 件）

○最優秀賞：(株)関プレス　テーマ：順送プレス加工における割裂加締加工技術による複雑三次元形状の一体成型技術の開発

○優秀賞：（株)HSP テクノロジーズ、ライフロボティクス(株)、TEI ソリューションズ(株)、クラフトワーク(株)

○優秀賞（つくば特別賞）：株)ベルファーム　○優秀賞（ローズ賞）：（株)ピコサーム

○奨励賞：10件

●第2回　常陽ビジネスアワード2013

○応募総数 92件：ものづくり（32 件）、アグリ・6次産業化（13 件）、環境・エネルギー（9 件）、医療・介護（5 件）、先端技術（1 件）、海外進出（6 件）、その他（26 件）

○最優秀賞：メークス(株)　テーマ：HI・NS工法

○優秀賞（つくば特別賞）：つくばテクノロジー(株)　テーマ：レーザ超音波可視化検査装置の開発

○優秀賞：RT プランニング(株)、(株)雀宮産業、ECO－A(株)、(株)抗菌研究所、(株)ユーキャ

○奨励賞：5件

(5)補助金の活用支援

特徴／問題意識

・補助金活用を通して企業の経営課題を当行と共有
・申請書原案は企業が主体的に作成、その後、当行と一緒にブラッシュアップ
・課題解決、競争力強化への支援
・融資機会の創出

●国内立地補助金： ５件採択

●創業補助金（一次・二次公募）： １０件採択

●戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン） ： ９件採択

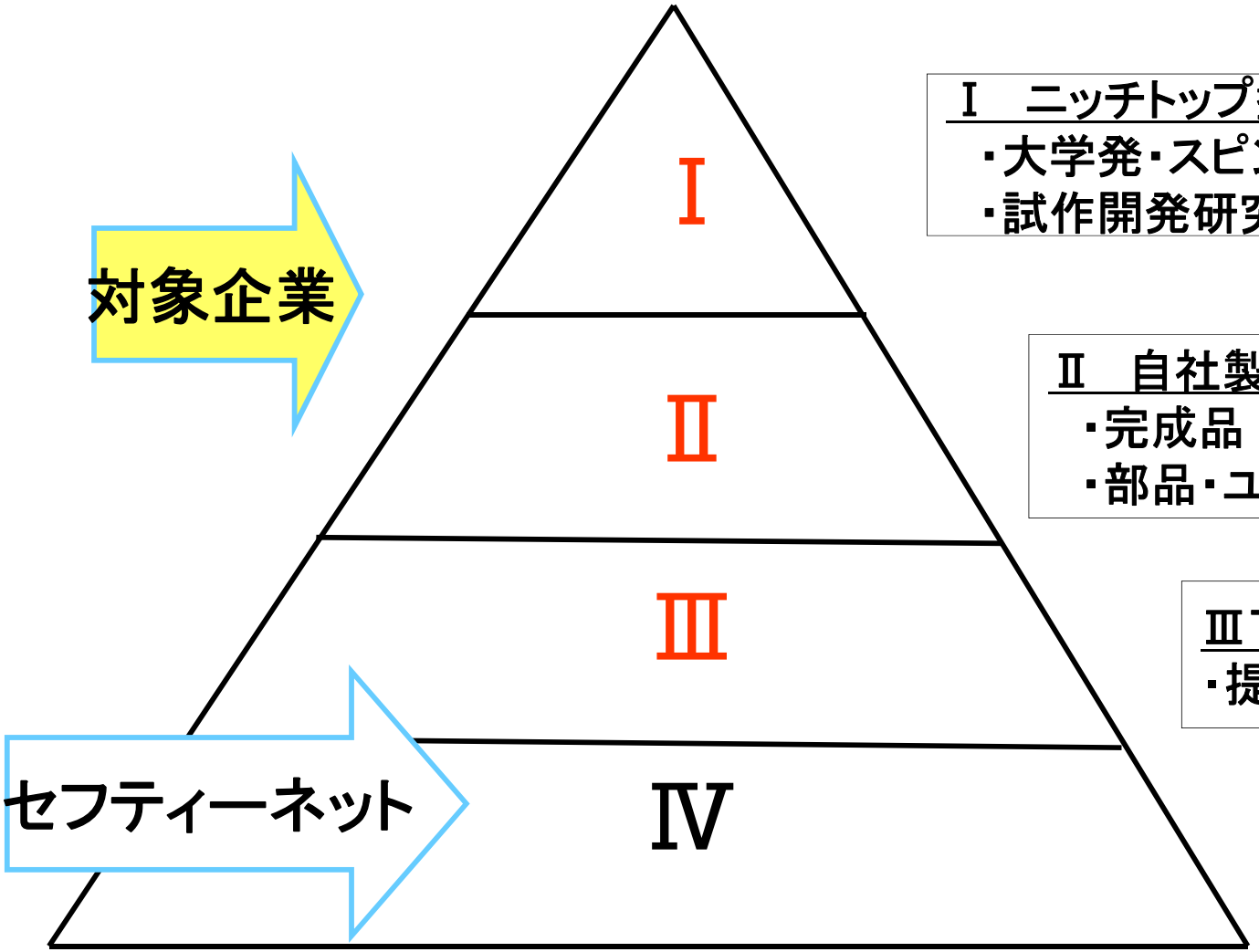
（ ビジネスアワード最優秀賞： (株)関プレス ）

●ものづくり補助金

・H25（一次） ：138件申請 53件採択
・H25（二次） ：115件申請 66件採択
・H26（一次前半）： 62件申請 32件採択
・H26（一次後半）：108件申請 58件採択
・H26（二次） ：172件申請 62件採択
合計 594件申請 371件採択

Ⅲ．産学官金連携の推進に向けて

（1）有望企業のスクリーニングが重要



Ⅰ　ニッチトップ型
・大学発・スピンアウト
・試作開発研究支援

Ⅱ　自社製品型
・完成品
・部品・ユニット

付加価値は
・素材の知識
・新機能の実現
・取りまとめ力

Ⅲ下請け型
・提案・取りまとめ力

Ⅳ下請け型
・図面支給／部品単品加工